

大潮の干潮の時刻である 2017 年 7 月 8 日 (土) と 7 月 24 日 (月) に渚調査。7/8 は干潮が 10:30 の 23cm、7/24 は 11:38 の 5cm であった。浜はゴカイなどの生物によると思われる小さい穴はけっこうあったが、生物の密度は低いようであった。

ロープの張ってある沖の方まであちこち熊手で掘ったが何も出てこないことが多かった。

7/8 は 15 回くらい熊手を入れ、沖の方の半分くらいは、バカ貝の稚貝が出るがあった。1 回アサリの稚貝も出てきた。ここの常連のような親子連れのバケツを見たら、マテ貝 2 個と中型のシオフキが一つ。以前、バケツ半分にマテ貝を取っていた人を見たことからすると、生物量は減っているようである。カニはある程度いるが。

かつて NPO 団体がハマグリを撒いたことがあり、2014 年夏に大量のハマグリを取って、水洗い場で皆に配ってくれていた人がいて、自分も後日中型のハマグリを 2 個取ったことがあり、現状について係の人に聞いたら、いることはいるようだが一日探して一個というような案配だとのこと。

多数の人が渚に入る場所ということもあるが、生物は非常に少ないようである。

人工渚 大潮の干潮



稚貝、バカ貝、アサリ



7/24 も同様で、沖の方でバカ貝の稚貝がある程度、まれにアサリの稚貝がでてきた。ただ、同じく沖の方で 2~3 cm のシオフキを 2 個発見した。



やっと見つけたシオフキ 7/24